

ふくい市議会だより



発行 福井市議会 福井市大手3丁目10番1号 TEL.0776-20-5510 平成25年8月10日発行 No.190



議会報告会の様子(4月19日・美山公民館)

4月 議会報告会

市内8会場で開催 114名の参加

市議会の目指すべき姿として「市民に身近で信頼される議会」と「進んで行動する議会」の2つを掲げ、その実現を目指すべく制定された福井市議会基本条例の施行に伴い、市民に対して議会の説明責任を果たし、市民の意向を把握するため、議会報告会を開催しました。

6月 定例会

監査委員など各役職を選出

6月定例会は、6月3日から25日までの23日間の会期で開かれました。今定例会では、監査委員の選任、各常任委員会委員、議会運営委員会委員及び各特別委員会委員の選任、福井市農業委員会委員(選任委員)の推薦、福井市地区広域市町村圏事務組合議会議員の選任、この国広域事務組合議会議員の選挙、鯖江広域衛生施設組合議会議員の選挙、福井県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙を行いました。

また、「平成25年度福井市一般会計補正予算」をはじめとする各会計補正予算、「福井市職員の給与の臨時特例に関する条例の制定について」など、市長提出の議案29件、報告28件を審議した結果、議案は25件を原案どおり可決、4件に同意し、報告については4件を承認、24件を受理しました。

請願、陳情については、今回新たに提出された請願1件と陳情2件、3月定例会において継続審査となっていた請願1件を審議した結果、陳情2件を採択、請願2件を不採択とすることに決定しました。

また、議員提出議案として、「TPPから食とくらしのちを守る意見書について」、「食料・農業・農村の発展を求める意見書について」を審議した結果、原案どおり可決し、関係機関に意見書を提出することに決定しました。

そのほか、市政に対する一般質問を24人の議員が行い、6月25日、予定した日程を全部終え閉会しました。

INDEX

主な内容

1	議会報告会 6月定例会の概要
2~3	議会報告会
4	議会の構成
5	主な議案
5~6	委員会審査
6~9	一般質問
9~10	予算特別委員会
11	議会日誌
11~12	議案等の審議結果

議会報告会

4月17～27日に市内8会場で開催した議会報告会で、皆さんからいただいた市政や議会運営に関するご意見、ご質問等について、その一部を紹介します。

その他のご意見、ご質問等は福井市議会ホームページでご覧になれます。

開催日	会場（参加人数）
4月17日	日新公民館（16人）
4月19日	美山公民館（16人）
4月24日	清水西公民館（30人）
4月24日	啓蒙公民館（13人）

開催日	会場（参加人数）
4月25日	鶉公民館（7人）
4月26日	明新公民館（7人）
4月27日	社南公民館（12人）
4月27日	湊公民館（13人）

いただいたご意見、ご質問等について

会場	内容
日新公民館	<p>質問 時間外に利用できる住民票等の自動交付機の利用件数、費用対効果はどうか。また、住民票等のコンビニ交付システムを使用するために必要となる住民基本台帳カードの普及率はどうか。</p> <p>回答 平成24年度における自動交付機の利用実績は住民票の写しが936件、印鑑証明書が1,024件、所得・課税証明書が92件であり、合計で2,052件となっている。費用対効果については、祝日・年末年始を除く1年を通じて午前9時から午後7時まで交付が可能だが、利用者が限られているため、窓口での交付と比較すると証明書1件あたり約3倍の費用がかかっている。また、平成24年度末時点の住民基本台帳カード普及率については4.80%となっている。</p>
	<p>質問 議員定数、議員報酬の福井市の今後の対応、費用弁償の考え方は。</p> <p>回答 議員定数、議員報酬については同規模市等の状況を勘案しながら研究していく。費用弁償は福井市では一昨年すでに廃止している。</p>
美山公民館	<p>質問 限界集落への対策は怎么样了のか。</p> <p>回答 有効性のある具体的な対策はあまりないのが現状であるが、配置されている集落支援員を活用して活性化を図っていただきたい。</p> <p>要望 地域間のつながりがなくなるなど課題が増えてきているため、限界集落への対策を強化してほしい。</p> <p>対応 ご要望の内容を理事者に申し送りました。</p>
	<p>要望 国体や新幹線など大型事業に予算が投じられ地域への予算が不十分であるため、配分の仕方を検討してほしい。</p> <p>対応 ご要望の内容を理事者に申し送りました。</p>
	<p>質問 TPP参加に伴う中山間地域への対応はどうか。</p> <p>回答 新規就農者育成支援や農商工連携など、農業等への意欲がわくような支援を考え訴えていきたい。</p>
	<p>質問 保育園入所について、現在公には待機児童がいないことになっているが、実際は地域によっているところもある。民間事業者の参入などにより対応できないのか。</p> <p>回答 民間事業者が運営する保育園を増やそうとしているが、法人として経営している事業者しか参入できない。</p>
清水西公民館	<p>質問 TPP参加に伴う中山間地域への対応はどうか。</p> <p>回答 新規就農者育成支援や農商工連携など、農業等への意欲がわくような支援を考え訴えていきたい。</p> <p>質問 保育園入所について、現在公には待機児童がいないことになっているが、実際は地域によっているところもある。民間事業者の参入などにより対応できないのか。</p> <p>回答 民間事業者が運営する保育園を増やそうとしているが、法人として経営している事業者しか参入できない。</p>

会場	内 容
啓蒙公民館	<p>要望 北陸新幹線延伸に関し、福井森田道路と国道416号の交差部分の整備が進んでいるが、国道416号から市中心部を結ぶ南北の幹線道路が弱いため、生活道路へ車の流入が増加している。南北の幹線道路の整備を要望する。また、立ち退き等の移転問題などについて、該当する住民の意見を十分に聞きながら進めてほしい。地元が鉄道運輸機構に要望できない事は市が対応してほしい。</p> <p>対応 ご要望の内容を理事者に申し送りました。</p> <p>要望 子ども会活動などについて市の計画通りにやらされているだけのような感じを受ける。もっと住民の考えを生かしてほしい。また自主運営を行えるように助成金を交付できないか。</p> <p>対応 ご要望の内容を理事者に申し送りました。</p>
鶉公民館	<p>質問 川西地区の下水道はほとんどが合併処理浄化槽だが、補助金・助成等はいつまで続くのか。</p> <p>回答 合併処理浄化槽維持管理事業補助制度は適正な処理水の維持を図るとともに、公共下水道等との負担格差の是正を図るために設けたものであり、継続したい。合併処理浄化槽設置整備事業補助制度は、その一部に国の合併処理浄化槽の設置に対する補助を活用した制度であり、国の補助の動向を注視し汚水処理施設の普及目標の達成に向けて継続したい。</p> <p>要望 七瀬川と九頭竜川の合流地点で七瀬川の堤防が低くなっているのので、県にかさ上げを要望しているが予算がないとの返答を受けている。市民の安全安心のために市議会議員が動いてほしい。</p> <p>対応 ご要望の内容を理事者に申し送りました。</p>
明新公民館	<p>質問 市は今後どのような方向性でまちづくりを進めていくのか。</p> <p>回答 第六次福井市総合計画や県都デザイン戦略において中・長期の計画を定めてまちづくりを進めている。福井国体開催や北陸新幹線開通に向けて市と県が連携してまちづくりを進めるよう市に伝える。</p> <p>質問 馬渡川近辺は都市化が進んだことで、年に一度は冠水、床下浸水などが起きるが、対策はどうなっているのか。</p> <p>回答 馬渡川本体の改修については、国・県・市3者の負担で施工しており、九頭竜川との合流点の改修について国へ訴えているが進んでいないのが現状である。地元の皆さんとしっかり訴えていきたい。</p>
社南公民館	<p>質問 至民中学校から基幹路線まで下水道事業が計画されていないが、どのように考えているのか。（農業排水が非常に汚れており、自然保護の観点からも下水道の整備は重要である）</p> <p>回答 今年度、下水道事業全体計画の見直しを予定しており、至民中学校を計画区域に取り込んだ上で管渠整備を行う予定である。</p> <p>質問 児童クラブ、児童館の所管が変わったと聞くがなぜか。</p> <p>回答 今年4月から放課後児童クラブ事業の対象が小学校6年生までに拡大されたことに伴い、入会児童数の増加への対応として小学校施設を最大限に活用することが必要となった。学校現場と連携し効率的に放課後児童クラブ事業を推進するため、児童クラブ、児童館で実施する放課後児童会の事業の所管を福祉保健部子ども福祉課から教育委員会事務局学校教育課へ移すこととした。</p>
湊公民館	<p>質問 市債残高については議論されているのか。</p> <p>回答 市債残高を減らそうという考えを持ち、経常経費、使用料、減免、人件費の見直し、債権整理の推進により、50億円の財源を作ると市長が答弁しており、市としても努力している。</p> <p>要望 三秀プールが老朽化しているため補修等が必要である。また、年間2カ月しか運営していないため有効的な活用方法を検討するべきではないか。災害対策上の活用や地域活性化のための活用方法も検討すべきである。</p> <p>対応 ご要望の内容を理事者に申し送りました。</p>

来年も4月頃に議会報告会を開催する予定です。詳細が決まり次第ホームページ等でお知らせしますので、ぜひ会場にお越しください。

議会の構成

委員会名		委員名				
常任委員会	総務	◎峯田 信一 谷本 忠士	○片矢 修一 伊藤 洋一	山口 清盛	皆川 信正	西本 恵一
	建設	◎今村 辰和 石丸 浜夫	○玉村 正人 下畑 健二	西村 公子 田中 義乃	堀川 秀樹	青木 幹雄
	教育民生	◎堀江 廣海 奥島 光晴	○宮崎 弥麿 後藤 裕幸	吉田 琴一 中村 綾菜	野嶋 祐記	島川由美子
	経済企業	◎田村 勝則 鈴木 正樹	○藤田 諭 泉 和弥	加藤 貞信 村田 耕一	谷口 健次	見谷喜代三
議会運営委員会		◎奥島 光晴 石丸 浜夫	○皆川 信正 峯田 信一	宮崎 弥麿 泉 和弥	堀川 秀樹 片矢 修一	西本 恵一 後藤 裕幸
特別委員会	予算	◎堀川 秀樹 西本 恵一 泉 和弥	○石丸 浜夫 田村 勝則 村田 耕一	加藤 貞信 島川由美子 藤田 諭	宮崎 弥麿 鈴木 正樹 伊藤 洋一	谷口 健次 堀江 廣海 田中 義乃
	産業活性化対策 <small>①企業の誘致 ②新事業育成 ③雇用の創出 ④産業の経営基盤の強化 ⑤地域資源の活用 ⑥農林水産業の振興 ⑦ふくい春まつり</small>	◎谷口 健次 堀江 廣海	○後藤 裕幸 泉 和弥	山口 清盛 村田 耕一	田村 勝則 片矢 修一	島川由美子
	議会改革 <small>①議会改革</small>	◎青木 幹雄 宮崎 弥麿	○田中 義乃 下畑 健二	西村 公子 谷本 忠士	加藤 貞信 藤田 諭	吉田 琴一 中村 綾菜
	公共交通・まちづくり対策 <small>①公共交通の整備促進 ②福井駅周辺整備 ③中心市街地の魅力向上</small>	◎皆川 信正 今村 辰和	○伊藤 洋一 鈴木 正樹	堀川 秀樹 峯田 信一	西本 恵一 奥島 光晴	石丸 浜夫 玉村 正人

①～⑦は各特別委員会の調査事項 ◎委員長 ○副委員長

(敬称略)

議会選出の各役職一覧

監査委員	山口 清盛 谷本 忠士
福井坂井地区広域市町村圏事務組合議会議員	見谷喜代三 野嶋 祐記 奥島 光晴 村田 耕一 後藤 裕幸
こしの国広域事務組合議会議員	堀川 秀樹 今村 辰和 伊藤 洋一
鯖江広域衛生施設組合議会議員	堀江 廣海 藤田 諭 玉村 正人
福井県後期高齢者医療広域連合議会議員	見谷喜代三 野嶋 祐記 片矢 修一
農業委員会委員	谷口 健次 今村 辰和
土地開発公社理事	見谷喜代三 野嶋 祐記 青木 幹雄 島川 由美子 中村 綾菜
都市計画審議会委員	石丸 浜夫 泉 和弥
民生委員推薦会委員	吉田 琴一 田中 義乃
青少年問題協議会委員	宮崎 弥麿
少年愛護センター運営委員会委員	下畑 健二 峯田 信一
社会教育委員	山口 清盛 西本 恵一 谷本 忠士
通学区域審議会委員	西村 公子 田村 勝則 峯田 信一
学校給食運営委員会委員	加藤 貞信 皆川 信正 鈴木 正樹

主な議案

今回議決した主な議案等は次のとおりです。議案等の審議結果は、11～12頁に掲載しています。

平成25年度補正予算

今回の補正予算は、一般会計で5億798万9,000円、競輪特別会計で23万9,000円を増額する一方、国民健康保険特別会計で488万円、後期高齢者医療特別会計で216万5,000円、介護保険特別会計で597万5,000円、簡易水道特別会計で97万5,000円、宅地造成特別会計で785万7,000円、中央卸売市場特別会計で431万2,000円、集落排水特別会計で150万9,000円、地域生活排水特別会計で73万6,000円、福井駅周辺整備特別会計で300万2,000円を減額するものです。また、企業会計では、ガス事業会計で17万3,000円を増額する一方、水道事業会計で2,003万4,000円を減額するものです。

補正後の予算額は、一般会計で1,044億1,698万9,000円、特別会計で770億

482万8,000円、企業会計で276億8,913万9,000円、全会計で2,091億1,095万6,000円となります。

○一般会計補正予算

職員給与費の減額のほか、災害に強い道路網とするとともに、安全で快適な交通環境を確保するための跨線橋耐震補強事業、下市町にあるため池に不正に埋め立てられた埋立物を処分するためため池埋立物撤去事業などについて、5億798万9,000円を計上するものです。

条例

○福井市職員の給与の臨時特例に関する条例の制定について

地方交付税の削減により厳しさを増す本市の財政状況の中で、防災・減災事業に取り組むため、平成25年7月から平成26年3月までの期間、福井市職員の給料や手当を減額するものです。

人事案件

教育委員会委員

平成25年6月26日をもって任期満了となる内田高義氏を引き続き選任することに同意しました。

監査委員

監査委員の辞任に伴い、山口清盛氏と谷本忠士氏を選任することに同意しました。また任期満了となる委員の後任として、滝波秀樹氏を選任することに同意しました。

人権擁護委員

平成25年9月30日をもって任期満了となる岡本妙子氏を引き続き同委員に推薦し、同日任期満了となる委員の後任として井村彰男氏を推薦することに意見を求められ、異議がない旨を答申しました。

市会案(議員提出議案)

意見書の提出

地方自治法第99条の規定により、次の意見書を内閣総理大臣ほか、関係機関に提出しました。

● TPPから食とくらし・いのちを守る意見書

● 食料・農業・農村の発展を求め意見書

委員会審査

各特別委員会、各常任委員会の委員を紹介し、主要な質疑等について、(日程順に掲載)

安全安心なまちづくり対策 特別委員会

《安全な住環境》

問 木造住宅の耐震診断や耐震改修工事等に対する支援だけでなく、非木造住宅への対応についてどのように考えているのか。

答 耐震改修促進法が改正されたことから、国の動向等を踏まえ、非木造あるいは、多数の方が利用する建築物についても対応を検討していきたい。

産業活性化対策特別委員会

《中小企業者経営支援》

問 中小企業金融円滑化法が終了したことによる中小企業への影響は。

答 商工会議所が行ったアンケート結果では、現在のところ影響は見受けられないが、今後状況が厳しくなることも考えられるため、金融機関が引き続き金融条件の緩和に際しては、経営支援の充実について国に要望していきたい。

《農業施設や農村環境の保全》

問 農地・水保全管理支払交付金事業における共同活動の事業費について、平成22年度から減少してきていることも踏まえ、どのような事業効果があると考えているのか。

答 平成19年度から事業を実施してきたことで、施設の荒廃に一定の歯止めがかかったと考えている。また、子ども会や婦人会などの非農業者が活動に参加することで、農村環境について学ぶ事ができるといった効果も生じている。

公共交通・まちづくり対策 特別委員会

《福井駅西口中央地区市街地再開発事業》

問 屋根付き広場の整備について、県の支援が受けられない場合は、市単独でも積極的に取り組んでいく考えはあるのか。

答 今後も県の支援を求めているが、支援が受けられない場合でも、市としてしっかりと最後まで整備しなければならぬと考えている。

《駅前電車通り》

問 イベント時に仮設電停を設置する際、片側の車線は車を止めないのはなぜか。

答 駅前商店街の方と話をし、タクシーや自家用車などで来る人の利便性を考えて、ある程度車の流れを損なわずにイベント会場も確保できるよう配慮した。

総務委員会

《職員給与》

問 今後の国の議論によって、給与を削減する期間をさらに延長することにはならないのか。

答 4月22日に行われた地方六団体と総務大臣との協議において、今回の給与削減はあくまで臨時的かつ例外的な措置であることを確認しており、来年度以降はこのようなことはないと考えている。

建設委員会

《街区再構築手法検討事業》

問 景観に配慮した整備が行われるよう行政が誘導しても、費用の問題もあり、街区でまとまって整備を行うのは難しいのではないのか。

答 全国の先進地の事例を参考に、共同建て替えなど本市の現状に適した手法を検討し、ガイドラインを策定したい。

教育民生委員会

《保育園の休園》

問 休園する香山保育園、木田保育園及び花堂保育園の園児はどつなつたのか。また、休園する過程で問題はなかったのか。

答 園児のほとんどが卒園し、残りの園児は民間保育園に移った。いずれの保育園も園児がいなくなったことを確認したため休園することになり、その過程で問題はなかった。

経済企業委員会

《競輪事業》

問 売上げが落ちていますが、今後の事業展開の見通しは。

答 来年以降の消費税増税により経費増となり、採算性が悪くなると予想される。雇用や地域経済の状況を見極めながら、納入交付金の減額を要請するなど様々な手法を考え、事業を継続していきたい。



一般質問

当面する諸問題について市の考え方を質問するため、24人の議員が一般質問を行いました。
(議員名の前についている番号は質問順、質問内容の掲載は大項目のみ)

(敬称略)

<p>① 峯田 信一</p> <p>1 福井市の男女共同参画の充実について 2 観光誘客について 3 企業誘致について 4 小規模事業者への経営支援について</p>	<p>② 泉 和弥</p> <p>1 力強い農業・農村を築く取り組みについて 2 福井市都市交通戦略に関する現状と課題について</p>	<p>③ 中村 綾菜</p> <p>1 成長戦略における「女性の活躍」について 2 男性職員の育児休業の取得について</p>
<p>④ 島川 由美子</p> <p>1 肺炎球菌ワクチン接種の公費助成について 2 風疹予防の取り組みについて 3 職員の人事管理について 4 保育園における食物アレルギー対応について</p>	<p>⑤ 吉田 琴一</p> <p>1 防災設備整備事業について 2 えちぜん鉄道踏切の遮断機事故に伴う本市の対応について 3 公共工事現場での労働災害防止対応について 4 保育士等処遇改善臨時特例事業について 5 子宮頸がん予防ワクチン接種について</p>	<p>⑥ 皆川 信正</p> <p>1 商工労働行政について 2 防災対策について 3 ため池埋立物撤去事業について 4 おいしいふくいの水について</p>
<p>⑦ 藤田 諭</p> <p>1 福井市の人口減少について 2 福井市の少子化対策について</p>	<p>⑧ 片矢 修一</p> <p>1 部局マネジメント方針について 2 農業政策について</p>	<p>⑨ 下畑 健二</p> <p>1 生活困窮者自立支援対策について 2 リース方式によるLED照明の導入について 3 避難場所標識板の設置について 4 公共工事の入札制度について</p>
<p>⑩ 堀江 廣海</p> <p>1 本市の消防行政について 2 福祉保健行政について</p>	<p>⑪ 玉村 正人</p> <p>1 子ども・子育て関連3法の実施について</p>	<p>⑫ 今村 辰和</p> <p>1 福井鉄道福武線のLRVについて 2 河川の管理について 3 足羽川ダムと集団移転について</p>
<p>⑬ 田中 義乃</p> <p>1 福井市の成長戦略について 2 養浩館庭園について</p>	<p>⑭ 後藤 裕幸</p> <p>1 豪雨災害の軽減策について 2 交通安全施設の充実について</p>	<p>⑮ 堀川 秀樹</p> <p>1 西口再開発ビルの現状について 2 サイクルシェア社会実験事業について 3 福井が目指す観光戦略について</p>
<p>⑯ 西本 恵一</p> <p>1 第5期福井市介護保険事業計画について 2 発達障害児への支援について 3 運動部活動における体罰について</p>	<p>⑰ 青木 幹雄</p> <p>1 まちづくりについて 2 教育について</p>	<p>⑱ 加藤 貞信</p> <p>1 北陸新幹線とまちづくり・土地区画整理事業について 2 男女共同参画と少子化対策について</p>
<p>⑲ 奥島 光晴</p> <p>1 本市独自の学校運営に対するサポートと家庭教育の大切さについて 2 工事請負の発注方法について 3 TPPと食の安全・農業・国土保全について</p>	<p>⑳ 谷口 健次</p> <p>1 北陸新幹線について 2 土地区画整理事業について</p>	<p>㉑ 伊藤 洋一</p> <p>1 地域経済対策、地場産業振興の取り組みについて 2 再生可能エネルギーの取り組みについて</p>
<p>㉒ 西村 公子</p> <p>1 憲法「改正」問題と市施設での展示物撤去について 2 国民健康保険事業について 3 亀山池の不法投棄問題と訴えの提起について 4 木造住宅耐震改修促進事業の拡充について</p>	<p>㉓ 鈴木 正樹</p> <p>1 アベノミクスによる市民生活への影響について 2 保育行政と年度途中の入園の受け入れについて 3 障害が重く医療を必要とする方の介護サービス利用について 4 三秀プールのこれからについて</p>	<p>㉔ 村田 耕一</p> <p>1 原発事故子ども・被災者支援法施行に伴う本市における取り組みについて</p>

一般質問要旨

男女共同参画

問 本市の審議会や委員会等における女性の登用について、どのように考えているのか。

答 男女の委員数が均衡するよう条例で定めており、社会の仕組みや行政の取り組みに女性の意見を反映させることは重要であるため、女性の登用を積極的に推進していく。

地域の農業経営

問 力強い農業の実現や生産性の向上を図るためには、本市の農業経営が稲作に特化していることや、兼業農家が極めて多い実態に即した対応が必要ではないか。

答 農業生産額と農家所得の向上を図ることが重要であると考えている。本市が県内最大の消費地であり、都市部と農村部が隣接しているという特徴を生かして、都市近郊型の農業を推進し、消費者のニーズに対応した園芸作物や、地域特産物を生産することで農業生産額の向上を図りたい。

男性職員の育児休業

問 本市の男性職員の育児休業取得の現状と取り組みは。

答 平成21年度に男性職員を対象に実施した意識調査アンケートでは、女性が育児の中心を担っているため男性に育児休業を取得するニーズがないという回答や、育児休業を取得しにくい職場環境であるとの回答が多かったことから、家庭と職場の両方に原因があると分析している。男性職員の育児休業制度について周知や啓発に努めるとともに、男性職員や職場内の意識改革を図り、育児休業を取得しやすい環境づくりに取り組んでいく。

風疹予防

問 予防接種の助成に対する考え方と対象者は。

答 妊婦の安心・安全を最優先に考えており、風疹の抗体反応検査で陰性の結果が出た妊婦と同居している家族で、平成2年4月1日以前に生まれた方に対して、予防接種費用の一部を助成する。

防災・減災対策

問 非常用貯水装置整備計画の今後の方針は。

答 非常用貯水装置が設置可能な41地区のうち、33地区で既に設置を完了した。今年度は安居、大安寺、粟、清水北の4地区に設置し、来年度には残り4地区に設置することで、1巡目の整備が完了する予定である。

問 町名表示板や街区表示板に避難場所の案内をどのように設けるのか。

答 地図による方法や文字による案内、ITを活用するなど様々な方法が考えられるため、検討委員会においてあらゆる角度から検証し、市民にとって最善の表示板となるよう努めていく。

一乗谷朝倉氏遺跡

問 さらなる誘客について、対策を講じるべきではないか。

答 観光の三大要素とされる「見る、食べる、遊ぶのうち、一乗谷朝倉氏遺跡は「見る」部分において重要な役割を果たしている。今後は歴史情緒を感じることでできるパフォーマンスの配

置や着付け体験などによりおもてなしの強化を図っていく。「食べる」、「遊ぶ」部分についても、県の支援を活用して近隣地域と連携していく。



一乗谷朝倉氏遺跡唐門

人口減少対策

問 対策に関する市の考えと市独自の政策は。

答 自然動態の増加に繋がる施策、社会動態の増加に繋がる施策、まちの魅力向上のための施策の3点が重要だと考えている。具体的には、子ども医療費助成拡大などの子育て支援や、空き家リフォームに対する補助などの住環境整備、福井駅西口全体の整備を進めることによる中心市街地の活性化などに努めている。

いずれにしても、人口減少対策に即効性を求めることは困難であり、長期的展望を持つて、総合的、複合的に取り組むことが重要だと考えている。

部局マネジメント方針

問 数値目標の達成を第一義とするのではなく、PDCAサイクルをしっかりと行い、その過程や失敗を今後の事業推進の糧とすべきではないか。

答 単純に結果だけをとらえるのではなく、しっかりと検証することでより良く改善していくことが重要であると考えている。また、PDCAサイクルの「チェック」と「アクション」を一本化したSPDサイクルを用い、より効率的にスピード感を持って事業を推進していく。

火災予防

問 火災予防や被害額減少をこれまで以上に図るためには、自衛消防組織の設置を促進するなど、市独自の取り組みが必要ではないか。

答 自衛消防組織の育成強化は特に重要であると考えており、今年度は認知症高齢者グループホームなどの小規模社会福祉施設において、消防隊が到着したことを想定した避難誘導や救出などの共同訓練を約100回行う計画である。

西口再開発ビル

問 商業フロアにおけるテナントリーシングの進捗と今後の予定は。

答 福井駅西口中央地区市街地再開発組合では、商業コンサルタントを活用しながら、様々な業種・業態のテナント構成について研究しているところである。今後の予定としては、西口再開発ビルの実施設計を踏まえ、具体的なテナント構成や募集方針を策定し、来年度には募集を開始する。

※テナントリーシングとは、テナントを探して誘致すること。

障がい児への支援

問 発達障がいや精神障がいがない保護者に対して、どのように理解を促しているのか。

答 早期に適切な対応を受けることは、障がいを持った児童にとって、将来に向けて大きな成長につながることから、保育園では日頃から保護者に園児の様子を伝えることや、懇談会や保育カウンセラーとの育児相談などを通じてアドバイスを行い、児童の特性について理解してもらえるよう努めている。

養浩館庭園

問 庭園内または御泉水公園やその周辺に茶店や喫茶室を設けてはどうか。

答 養浩館庭園が文化財であることや、都市公園法の制約から茶店などの設置は難しいが、来園者が多い季節の土・日曜日、祝日には茶道団体の協力により茶席を開催し、庭園の趣を生かしたおもてなしの提供を行うなど、今後も文化財・観光資源としての価値を高めていく。

豪雨対策

問 老朽化している東郷地区の南山排水路、桂山排水路、太田江排水路を改修する計画はないのか。

答 具体的な計画はないが、改修する場合には、流出先である江端川を含めた全体的な排水計画の中で位置づけを行う必要がある。また、基幹排水路を大規模改修する場合には、福井市農業農村整備事業管理計画に位置づけ、施設の所有者や管理者と協議する必要があるため、改修の必要性やその方法などについて調整していきたい。

放課後児童クラブ

問 小学校6年生までの受け入れに対応するための方向性はどのように考えているのか。

答 今後、国から示される放課後児童クラブのニーズ調査項目を十分確認しながら、独自に小学校全学年を対象とした入会希望及び家庭状況等の調査を実施し、小学校区ごとの受け入れを必要とする児童の実態把握に努める。

調査結果を踏まえて、必要な施設の整備や運営体制など、小学校6年生までの児童の受け入れ体制を計画的に整えていく。

福井鉄道福武線

問 「フクラム」導入による乗客数の増加は。

答 検査による連休を除いた5月1日、3、6日の5日間で、3,205人の利用があり、「フクラム」が導入されていなかった昨年同日、同便の利用者数974人と比べて、2,231人の増、対前年度比32.9%と、大幅に増えている。また、平常時である4月10、30日の2日間の利用者数が4,920人であり、昨年同時期、同便の利用者数3,454人と比べて1,

466人の増、対前年度比14.2%となっている。

学校教育

問 ふるさとを愛する教育、郷土愛を育む教育は重要であるが、どのように取り組んでいるのか。

答 学校教育目標として「郷土福井に誇りを持ち、たくましく生きる子どもの育成」を掲げ、地域の人材・資源の活用を推進している。各学校の総合的な学習時間や学校行事において調査活動や体験活動、ボランティア活動などを行っており、これらを通して地域の自然や歴史、産業などを学び、ふるさとを愛する子どもを育てている。

北陸新幹線

問 土地区画整理事業区域内に準備した新幹線用地の処分は怎么样了。

答 森田北東部地区、市場周辺地区内の新幹線用地として準備した保留地は、鉄道建設・運輸施設整備支援機構が今年度取得する意向を示しており、市としても売買契約に向けて協議を進めていく。

土地区画整理事業

問 土地区画整理事業と併せて関連事業を実施するメリットは何か。

答 関連事業に適した敷地を設定でき、用地の確保が容易にできるほか、区画道路を併せて整備することで、特定の道路に面した人たちだけではなく、区域内の全ての人が効果を得ることができる。

また、小学校建設などの施設整備事業と同時に通学路や公園などの公共施設を整備したり住宅地を供給したりすることで、計画的に安全安心なまちづくりを実現することができる。

再生可能エネルギー

問 下水処理過程で発生する消化ガスを利用した発電事業の内容は。

答 昨年度から約3億4,000万円をかけて事業を開始しており、本年度は日野川浄化センター内に25キロワットのマイクロガスエンジン発電機を12基、合計で300キロワットの発電設備を設置する。

国民健康保険事業

問 国民健康保険税の値上げについてどのように考えているのか。

答 保険税等の歳入の動向や、保険給付費等の歳出の動向を見ながら検討を行うべきである。また平成26年度には消費税率改定が予定されているため、その影響も考慮する必要があると考えている。

保育園への企業参入

問 保育園への営利目的の企業の参入を認めるのか。

答 厚生労働省は認可保育所への株式会社などの参入について公平に扱うよう通知を出しているが、市としては早急

に参入が必要であるとは考えておらず、他市の実施状況なども参考に慎重に対応したい。

原発事故被災者支援

問 原発事故により家族と離れて暮らすこととなった子どもに対する心のケア等の支援にはどのようなものがあるのか。

答 避難者家族への不安や悩みへの心のケアとしては、昨年の8月1日から、NPO法人ひとりじゃないプロジェクト・福井が立ち上げた、医師などの専門家を紹介する無料電話相談「よりそい福井」がある。

また、市では総合政策室に被災者支援総合窓口を設置し、市内に避難された被災者家族への情報提供のほか、様々な不安や悩みに対応できる体制を整えている。



被災者支援総合窓口

予算特別委員会

審査結果

6月3日の本会議において予算特別委員会に付託された各予算案及び市政上の重要案件について審査するため、6月19日及び20日に委員会を開催しました。審査の結果、付託された予算案及び報告については、いずれも原案どおり可決、承認しました。

主な質疑

福井駅西口周辺整備

問 屋根付き広場の整備費15億円の費用負担の内訳は。

答 屋根付き広場の整備費は再開発事業費には含まれず、施設整備費によって整備を行う。費用負担は、国から事業費の45%に当たる6億8,000万円の補助を受け、残りの8億2,000万円が市の負担となる。

委員長報告から主要な質疑等を紹介いたします。

要望

屋根付き広場の整備について県に対して支援を求めて欲しい。

都市部のまちづくり

問 新栄地区、田原町駅周辺の市街地再開発事業は今後どのように進めるのか。

答 新栄地区には都市防災上、商業上の問題があり、権利者の不在、高齢化、後継者問題が想定されることから、今年度地権者への調査等を福井大学と共同で進める予定である。

田原町駅については相互乗り入れ事業の一環として、駅舎、プラットホーム、上屋等の鉄道施設の改築計画について協議している。その上で周辺整備についても地元の話を聞きながら計画を進めたい。



福井鉄道の新型低床車両「FUKURAM(フクラム)」

福井市のまちづくり

問 人口減少時代を見据えたまちづくりをする必要があるのではないかと。

答 都市の魅力の3大要素は安全・安心、歩く楽しさ、食と買い物と言われており、人口減少時代においても大きく変わるものではない。

今後の本市のまちづくりにおいては、これらの魅力を高めていくことに加え、福井の優れた教育や、今後伸ばしていくべき観光の要素を福井駅西口エリアに取り込むとともに、将来の高齢者増加にも対応した二次交通の強化も踏まえたまちづくりを進めていく必要がある。

認知症サポーターの養成

問 認知症サポーター養成講座を行うキャラバン・メイトを増やすための施策を何か考えているのか。

答 昨年度から市独自で市内のキャラバン・メイトを集めて交流会を開催しており、お互いに情報交換をしてもらうことで、より活発な活動ができるよう支援を行っている。

子ども行政のあり方

子どもたちを取り巻く環境の整備をどのように考えているのか。

森田、中藤、明新の3地区を重点整備地区として私立保育園の整備を優先的に進める。また、耐震診断で改修が必要となった保育園は計画的に順次改修を行っている。

これらのハード整備と併せて、保育の質を高めることも大切だと考えており、職員の資質の向上を目的として、各公私立保育園等で独自の研修や私立幼稚園を含めた合同研修会も行っている。今後も引き続き必要な環境整備を実施していきたい。

福井の伝統野菜

伝統野菜を今後どのように支援していくのか。

木田ちこそ、新保なすなどの伝統野菜は市の大切な財産であるため、伝統の福井野菜支援事業により支援を行っている。今年度は、「食」の普及活動を行っている食生活改善推進員と生産者との交流会などを開催し、

伝統野菜の特長や歴史、料理法を紹介するなどPR活動をしていきたい。



新保なす

有害鳥獣対策

近年シカによる農作物等への被害が発生している

が、シカの推定生息数や被害状況、捕獲頭数や対策方法は、

平成23年度に県が行った推定生息数の調査では、福井地区で2,200頭が生息している

と推定されている。農作物被害は、平成22年度の被害面積が2.76ヘクタール、被害

金額が9万3,000円、林業被害は、平成23年度の被害面積が0.9ヘクタールであった。また、捕獲頭数は平成24年度が29頭であり、防除と捕獲の両面から対策を講じている。

SSTらんの利活用

施設利活用の今後の方向性は。

今年度の計画では、人気の高いバーベキュー施設の増設を行うとともに、子ども連れの利用者から要望が多い木製遊具の新設を行う予定であり、

多様化する利用者ニーズを的確に捉え満足度を上げることで、利用者数を増やしていきたい。

都市計画道路川西国道線

えちぜん鉄道と交差する踏切の手前部分で幅員が狭くなっており、主要地方道路

福井加賀線及びえちぜん鉄道と複雑に交差する場所となっているが、今後どのように整備していくのか。

現在の都市計画決定では、都市計画道路川西国道線が、えちぜん鉄道と福井主要地方道路福井加賀線を高架で跨ぐ計画であるため、多額の費用を

要する。また、国道8号と国道416号を結ぶ重要な路線であることから、県道昇格による県道の整備を要望していく。

生涯スポーツ

福井国体はスポーツの推進への絶好の機会であるが、この機会をどう生かしていくのか。

国体及び関連イベントによるスポーツ機運の盛り上がり

が期待されるが、国体後もそのスポーツ熱を根付かせる事が重要であるため、国体で整備される施設や国体運営で培われる競技指導者などの人的資源を十分に活用し、いつでもどこでも誰もが気軽に、生涯にわた

りスポーツができる環境を整えていきたい。

越前グラウンド

グラウンドが荒廃し、西側にある展望施設の破損が著しいが今後の対応は。

グラウンド西側の木の体験広場内にある老朽化が著しい危険な施設については撤去し、グラウンドに絞って維持管理していく。

学校給食センター

調理室の労働環境を改善するために冷房機器を導入する考えはないのか。

現在はスポットクーラーや扇風機などで対応している

ほか、下処理室及び休憩室にはクーラーを設置しているが、調理室には熱を発生する調理設備が多いことから、場合によっては作業に適した室温となっていないことは認識している。今後建物の耐震化や老朽化対応など、施設全体の整備改修の中で検討していきたい。

消防団

分団の管轄区域を小学校区に変更したことによる成果と課題は。

成果としては、管轄区域が明瞭となり、地元の主防災組織との連携が密になったこと、消防防災力が向上したこと

などにより自治会組織との連携が深まり、消防団員への入団促進が図られたことが上げられる。また、再編による問題は特に発生していない。

国民健康保険事業

他市の資格証明書の発行状況を調査し、発行をやるべきではないか。

類似都市を調査しており、今後でもできる範囲で調査して

いきたい。また資格証明書から短期被保険者証に切り替える制度をしっかりと周知していきたい。

6月3日	議会運営委員会、議員全員協議会、本会議
4日	議会運営委員会
10日	本会議
11日	本会議
12日	本会議
13日	総務委員会、建設委員会
14日	教育民生委員会、経済企業委員会
19日	予算特別委員会
20日	予算特別委員会
21日	議会運営委員会
25日	議会運営委員会、議員全員協議会、本会議

6月定例会

4月4日	北信越市議会議長会評議員会(富山市)	議長	出席
5月2日	議会運営委員会	副議長	出席
21日	北陸新幹線建設促進大会、北陸新幹線建設促進同盟会(東京都)		
22日	全国市議会議長会第191回理事会(東京都)		
23日	議会改革特別委員会		
24日	安全安心なまちづくり対策特別委員会		
27日	議員全員協議会、議会運営委員会		
28日	産業活性化対策特別委員会		
31日	公共交通・まちづくり対策特別委員会		
31日	全国競輪主催地議会議長会近畿部会総会(岸和田市)		

議会日誌(4~6月)

(6月定例会)				議案等の審議結果	
議案番号	件名	審議	結果		
第30号議案	平成25年度福井市一般会計補正予算	6月25日	原案可決		
第31号議案	平成25年度福井市国民健康保険特別会計補正予算	〃	〃		
第32号議案	平成25年度福井市後期高齢者医療特別会計補正予算	〃	〃		
第33号議案	平成25年度福井市介護保険特別会計補正予算	〃	〃		
第34号議案	平成25年度福井市競輪特別会計補正予算	〃	〃		
第35号議案	平成25年度福井市簡易水道特別会計補正予算	〃	〃		
第36号議案	平成25年度福井市宅地造成特別会計補正予算	〃	〃		
第37号議案	平成25年度福井市中央卸売市場特別会計補正予算	〃	〃		
第38号議案	平成25年度福井市集落排水特別会計補正予算	〃	〃		
第39号議案	平成25年度福井市地域生活排水特別会計補正予算	〃	〃		
第40号議案	平成25年度福井市福井駅周辺整備特別会計補正予算	〃	〃		
第41号議案	平成25年度福井市下水道事業会計補正予算	〃	〃		
第42号議案	平成25年度福井市ガス事業会計補正予算	〃	〃		
第43号議案	平成25年度福井市水道事業会計補正予算	〃	〃		
第44号議案	福井市職員の給与の臨時特例に関する条例の制定について	〃	〃		
第45号議案	福井市市税賦課徴収条例の一部改正について	〃	〃		
第46号議案	福井市印鑑条例の一部改正について	〃	〃		
第47号議案	福井市社会福祉施設設置条例の一部改正について	〃	〃		
第48号議案	福井市後期高齢者医療に関する条例及び福井市介護保険条例の一部改正について	〃	〃		
第49号議案	福井市公民館設置に関する条例の一部改正について	〃	〃		
第50号議案	財産の取得について(福井駅西口中央地区第1種市街地再開発事業における市施設)	〃	〃		
第51号議案	財産の取得について(清掃機械車)	〃	〃		
第52号議案	財産の取得について(除雪ドーザ(13t級、車輪式、マルチプラウ付))	〃	〃		
第53号議案	財産の取得について(凍結防止剤散布車(乾式、3t級、4×4))	〃	〃		
第54号議案	訴えの提起について(下市町のため池に係る損害賠償請求)	〃	〃		

議案番号	件名	審議	結果
第 55 号議案	監査委員の選任について	6月3日	同意
第 56 号議案	監査委員の選任について	〃	〃
第 57 号議案	教育委員会委員の任命について	6月25日	〃
第 58 号議案	監査委員の選任について	〃	〃
第 1 号報告	専決処分の承認を求めることについて(福井市市税賦課徴収条例の一部改正)	〃	承認
第 2 号報告	専決処分の承認を求めることについて(平成24年度福井市一般会計補正予算)	〃	〃
第 3 号報告	専決処分の承認を求めることについて(平成24年度福井市宅地造成特別会計補正予算)	〃	〃
第 4 号報告	専決処分の承認を求めることについて(平成25年度福井市国民健康保険特別会計補正予算)	〃	〃
第 5 号報告	平成24年度福井市一般会計継続費の繰越しに関する報告について	6月3日	受理
第 6 号報告	平成24年度福井市一般会計繰越明許費の繰越しに関する報告について	〃	〃
第 7 号報告	平成24年度福井市一般会計事故繰越しの繰越しに関する報告について	〃	〃
第 8 号報告	平成24年度福井市簡易水道特別会計繰越明許費の繰越しに関する報告について	〃	〃
第 9 号報告	平成24年度福井市宅地造成特別会計繰越明許費の繰越しに関する報告について	〃	〃
第 10 号報告	平成24年度福井市集落排水特別会計繰越明許費の繰越しに関する報告について	〃	〃
第 11 号報告	平成24年度福井市福井駅周辺整備特別会計繰越明許費の繰越しに関する報告について	〃	〃
第 12 号報告	平成24年度福井市下水道事業会計予算の繰越しに関する報告について	〃	〃
第 13 号報告	平成24年度福井市ガス事業会計継続費の繰越しに関する報告について	〃	〃
第 14 号報告	平成24年度福井市水道事業会計予算の繰越しに関する報告について	〃	〃
第 15 号報告	専決処分の報告について(市営住宅の使用料等の支払請求及び明渡請求に係る訴えの提起について)	〃	〃
第 16 号報告	専決処分の報告について(市営住宅の使用料等の支払請求及び明渡請求に係る訴訟の和解について)	〃	〃
第 17 号報告	福井市土地開発公社の平成24年度決算に関する報告について	〃	〃
第 18 号報告	福井市土地開発公社の平成25年度予算に関する報告について	〃	〃
第 19 号報告	財団法人越進振興会の平成24年度決算に関する報告について	〃	〃
第 20 号報告	財団法人越進振興会の平成25年度事業計画等に関する報告について	〃	〃
第 21 号報告	財団法人福井市ふれあい公社の平成24年度決算に関する報告について	〃	〃
第 22 号報告	公益財団法人福井市ふれあい公社の平成25年度事業計画等に関する報告について	〃	〃
第 23 号報告	公益財団法人福井観光コンベンションビューローの平成24年度決算に関する報告について	〃	〃
第 24 号報告	公益財団法人福井観光コンベンションビューローの平成25年度事業計画等に関する報告について	〃	〃
第 25 号報告	公益財団法人歴史のみえるまちづくり協会の平成24年度決算に関する報告について	〃	〃
第 26 号報告	公益財団法人歴史のみえるまちづくり協会の平成25年度事業計画等に関する報告について	〃	〃
第 27 号報告	財団法人福井市漁業振興会の平成24年度決算に関する報告について	〃	〃
第 28 号報告	一般財団法人福井市漁業振興会の平成25年度事業計画等に関する報告について	〃	〃
市会案第18号	T P Pから食とくらし・いのちを守る意見書について	6月25日	原案可決
市会案第19号	食料・農業・農村の発展を求める意見書について	〃	〃

(6月定例会) 請願・陳情等の審議結果			
請願・陳情番号	件名	審議	結果
請願第 13 号	食料自給率50%達成目標の設定及びT P P(環太平洋連携協定)参加を行わないことを政府に強く求める意見書提出について	6月25日	不採択
請願第 14 号	年金2.5%削減中止を求める意見書提出について	〃	〃
陳情第 11 号	T P Pから食とくらし・いのちを守る意見書提出について	〃	採択
陳情第 12 号	食料・農業・農村の発展を求める意見書提出について	〃	〃

お問い合わせ

議会事務局
議事調査課

076-201-5110

● 傍聴できる会議

- 本会議 (席数 91席 車イス用 6席)
- 常任委員会 (総務 建設 教育民生 経済企業)
- 議会運営委員会 (産業活性化対策 議会改革)
- 特別委員会 (公共交通・まちづくり対策 予算)
- 議員全員協議会

なお、本会議 予算特別委員会の模様は、ケーブルテレビのふくチャンネル121chで生中継及び録画放送されます。

次回は 9月定例会です

(日程が決まり次第ホームページでお知らせします)

傍聴してみませんか

請願・陳情等の提出について

請願・陳情などは、基本的にごく早く提出できますが、年4回(3・6・9・12月)開催される定例会で審議されますので、提出時期等詳細については事前に議会事務局にお問合わせください。